

社会保険田川病院

臨床研修案内

一歩一歩、
しっかりと
踏みしめて
歩んでいく





あなたが歩む

医師としての人生

医師として歩き始めたあなたを、どこへ行っても通用する医療のプロ、今後の医療現場を支える将来性のある人材へと育てる、それが私たちの誇りであり、使命であると考えています。

病気と向き合う前に、患者さんと向き合う。医師が病気を治すのではなく、患者さんが病気と戦うのをお手伝いする。最善の方法を見つけるため、些細なことも見逃さず考え抜く。

私たちが大切にしているのは、「どれだけ深く考える姿勢」を持ってたかということ。

少人数制だからこそ、
豊富な経験を
しっかりと積む

私たちが育む研修医は2名。
年間で約2,500件の救急搬送受入れ、
約2,000例の手術、約300例の分
娩を取扱う当院で、研修医一人ひとりが
多くの症例を経験し、しっかりと考える
ことができます。



一次から二次まで多様な
Common Diseases
に携わる

私たちは人口13万人余りの医療を担う地
域の中核病院です。地域医療支援病院と
して、精密検査や専門的治療が必要な紹
介患者さんを治療することはもちろん、
初めて病院にかかる患者さんをいちから
診察し治療することも行っています。総合
的かつ基本的な知識、技術手技を習得す
ることができます。



継続性と
柔軟性のある
臨床研修プログラム

必修科目を修めたうえで、52週に渡る選
択科目を用意。13の診療科から、到達目
標に配慮しながら希望する期間学ぶこと
ができます。指導医によるマンツーマン
の指導体制を基本としながら、プログラ
ム責任者と十分な協議を行い、あなたに
合ったプログラムを一緒に考えます。



私 た ち に つ い て



●入院患者数

246 人 / 日

●新入院件数

14.1 人 / 日

●外来患者数

538 人 / 日

●紹介患者数

36 人 / 日

●救急搬入件数

2,552 件 / 年

●うち入院件数

1,172 件 / 年

●手術件数

1,831 件 / 年

●うち全身麻酔

807 件 / 年

●分娩件数

282 件 / 年

【平成 30 年度実績】

●標榜診療科

26 診療科【内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科、形成外科、脳神経外科、眼科、精神科、緩和ケア内科、老年内科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科】

●許可病床数

335 床（稼働病床数 285 床）【一般病棟：7 対 1 入院基本料 198 床、HCU12 床、地域包括ケア病棟 40 床、療養病棟 35 床】

●職員数

526 名（令和元年 11 月 1 日現在、非常勤職員含む）【医師 41 名、歯科医師 3 名、看護職員 252 名、コメディカルスタッフ 106 名、事務 124 名】

●病院の指定

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、基幹型臨床研修病院（医師）、管理型臨床研修施設（歯科医師）、開放型病院、福岡県肝疾患専門医療機関、救急告示病院、病院群輪番制（二次救急医療）病院、産科医療補償制度加入分娩機関、DPC 対象病院、日本医療機能評価機構認定病院

◎学会認定

日本内科学会 認定医制度教育関連病院
日本呼吸器学会 関連施設
日本消化器病学会 認定施設
日本外科学会 外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設
日本整形外科学会 専門医研修施設
日本脳神経外科学会 専門医訓練施設
日本泌尿器科学会 専門医教育施設
日本眼科学会 専門医制度研修施設
日本産科婦人科学会 専門医卒後研修指導施設
日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
日本病理学会 研修登録施設
日本臨床細胞学会 認定病院
日本胆道学会 指導施設
日本食道学会 全国登録認定施設
日本脳卒中学会 認定研修教育病院
日本消化器内視鏡学会 認定指導施設
日本消化器がん検診学会 認定指導施設
日本乳癌学会 認定医専門医制度関連施設
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定施設
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設
日本病院薬剤師会 プレアボイド報告施設



地域医療の最前線で

私たちができること

25の診療科と335床を有する総合病院として、高度急性期・急性期医療を中心に、回復期、慢性期、在宅へと至る医療を包括的に担っています。

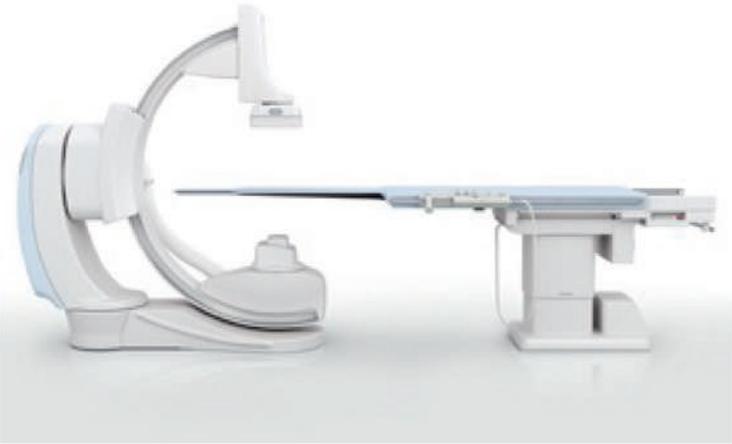
「地域医療支援病院」として、精密検査や専門的治療が必要な紹介患者さんの受入れと高度医療機器の共同利用。

「地域がん診療連携拠点病院」として、手術、化学療法、放射線治療を用いたがんの集学的治療、そして緩和ケア。診断から治療、終末期まで多様なステージの患者さんを診療。

「救急告示病院」として、医療圏内トップの救急搬入受入れ実績。

さらに、地域では数少ない分娩施設として、産婦人科、小児科、専門的知識をもつ助産師による緊密な連携のもと、ハイリスクな分娩や院内助産など「周産期医療」への多様な対応。

私たちは、「地域医療を守る」という信念を持って、走り続けています。



病院長の想い

病院長 / プログラム責任者
黒松 肇



昨今、医療の高度化、専門家、複雑化が進む中、医師に求められるスキルはますます高くなっています。しかし「医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に対応できるように、基本的な診療能力を身に付けることのできるものではない」と医師臨床研修理念が示す通り、その礎となるのは基本的な医療に対する技術、態度です。

当院は地域の患者さんの生活に寄り添う包括的な医療を目指すため、当院の特徴である急性期医療に加えて、回復期・慢性期医療にも注力しています。また、地域医療支援病院であり「common disease」に対する幅広い知識を獲得することが可能です。

今年の当院職員の合い言葉は「和」。患者さんひとりひとりの接遇を大切にし、チーム医療を円滑に進めるなど自然に医師としての人格が涵養される親しみやすい病院環境づくりに心配っています。私たちがどんなときにも忘れないように心がけているのは、医療に携わる者としてのあるべき姿勢。一人でも多くの地域の皆さんに必要とされる病院でありたいと願っています。

スタッフ一同、親身の医療を目指す方を心より歓迎します。地域医療の最前線でぜひ一緒に学びましょう。



研修プログラムについて

私たちの研修プログラムは、修めるべきポイントを押さえつつ、個々の研修医の希望を大切にしていきます。

一次から二次まで多様なCommon Diseasesに豊富に携わることができ、医師としての基礎をしっかりと築く。

少人数制だからこそできる自由なローテーションで、幅広く様々な知見を得ることはもちろん、深く究めるなど道も様々。

指導医の他にメンターを一人ひとりに付け、細かにサポート。

定期的にプログラム責任者、指導医、メンターと協議を行い、現状を把握し将来について考える。

私たちと歩む2年間、その先を見据えつつ、一歩一歩しっかりと歩んでいきましょう。

令和元年まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	内科						救急部門			外科（外科・脳外・整形）、 麻酔科、小児科、産婦 人科、精神科より選択		
	必修						必修			選択必修		
	6ヵ月						3ヵ月			3ヵ月		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二年次	地域 医療	自由選択 内科、小児科、精神科、外科、麻酔科、脳外科、整形外科、耳鼻咽喉科、 産婦人科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、眼科、放射線科										
	必修	選択										
	1ヵ月	11ヵ月										

- 1年次の選択必修科目 | 外科系（外科・脳外科・整形外科より選択）、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科より2科目選択。
- 1年次の救急部門 | 麻酔科、外科、脳外科、整形外科において研修を行う。
- 厚労省の到達目標達成のためには、精神科、産婦人科の研修が必須であるため、1年次に選択しなかった場合、2年次に両科をそれぞれ1ヶ月ずつ研修する。
- 1年次の選択科目終了時、個別面談を実施。研修医の希望や到達目標の達成状況を踏まえ、最適な研修計画を決定する。
- 「地域医療研修」は、協力施設の岡部内科循環器科（田川市）において行う。
- 「精神科研修」は、協力病院の医療法人福翠会高山病院（直方市）において行う。

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	内科						麻酔科・救急		外科	小児科	自由選択	産婦人科
	必修						必修		必修	選択	必修	
	24週						8週		各4週		4週	4週

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二年次	精神科	地域 医療	自由選択 内科、小児科、精神科、外科、麻酔科、脳外科、整形外科、耳鼻咽喉科、 産婦人科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、放射線科									
	必修		選択									
	各4週		48週									

- 1年次の選択科目 | 内科、小児科、精神科、外科、麻酔科、脳外科、整形外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、放射線科より選択。
- 1年次の5月～当直（副直）開始。毎月4回の当直業務を行い救急部門の研修とする。
- 厚労省の到達目標達成のためには、在宅医療の研修が必須であるため、2年次に訪問診療が行われる際に同行する（最低3ヵ月）。
- 1年次の選択科目終了時、個別面談を実施。研修医の希望や到達目標の達成状況を踏まえ、最適な研修計画を決定する。
- 「地域医療研修」は、協力施設の岡部内科循環器科（田川市）において行う。
- 「精神科研修」は、協力病院の医療法人福翠会高山病院（直方市）において行う。

勉強会・研修会について

臨床の他にも、学ぶ機会は様々。定期的な各科カンファレンス、勉強会はもちろん、院外より講師を招いた講演会や研修会、Webセミナー、学術集会や学会発表などを行っています。

田川EMCフォーラム



緩和ケア研修会



外部講師を招いた研修会



学術集会

その他、

- ・ 医局会
- ・ 剖検、CPC
- ・ 田川画像研究会
- ・ 田川消化器勉強会

医局主催や病院主催の様々な勉強会・研修会があります。



行事について

医局を越えた、職種を越えた交流も大切に行っています。
チーム医療としての結束を強めることはもちろん、単純に楽しめる。
そんなイベントも行っています。



社会保険田川病院について

社会保険田川病院は、昭和25年に、多くの中小炭鉱の従業員およびその家族の福利厚生と、炭鉱医療施設の普及と充実を目的に、政府の施策の一環として開設されました。

経営母体である一般社団法人福岡県社会保険医療協会は、福岡県下において7病院（総病床数1,301床）、診療所、介護老人保健施設並びに各種介護サービス事業所、看護専門学校を総合的に運営し、1,800余名の職員が一丸となって、地域社会における社会保険医療普及への寄与、社会福祉の増進を目的とした活動を行っています。



Facebookにて、私たちの近況をお伝えしています。是非、一度ご覧いただければと思います。

あなたの「いいね」をお待ちしています。



田川にこそ



田川市のまわりに、7つの町村からなる田川郡があります（糸田町、香春町、川崎町、福智町、添田町、大任町、赤村）。昔ながらの人情味あふれる人が多く、豊かな自然に囲まれた静かでのどかな所です。また、福岡市や北九州市といった都市圏まで車で約1時間とアクセスも良好。豊かな自然の中でリラックスするもよし、街へ出掛けるもよし、学ぶ環境に適した地域です。





目で見て、人に触れ、 肌で感じる、病院見学

あなたたちを育む指導医や看護師、
コメディカルスタッフ。2年間生活する
「田川」という町。紙面だけでは、すべて
をお伝えすることはできません。

“ 実際に肌で感じて欲しい ”

私たちはそう考えています。見学した
いポイントに沿った見学スケジュールを
ご提案、ひとりでも、友人とでも、日帰
りから宿泊まで、対応します。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

- ❖ 医師当直室での宿泊も可（バス、トイレ、テレビ、冷蔵庫あり）
※医師当直室の空室状況により、近隣ホテルをご案内する場合あり。
その場合は宿泊費支給。

- ❖ 交通費支給（上限あり）

◇お問い合わせ先 社会保険田川病院 経営企画課

TEL 0947-44-0460 E-mail kikaku@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

募集要項

応募、選考について

応募資格	マッチング参加者
募集人員	2名
採用時期	令和3年4月1日（研修期間2年間）
出願書類	臨床研修申込書（当院ホームページよりダウンロードできます）、履歴書(写真貼布)、卒業(見込)証明書、成績証明書、健康診断書（大学発行のもので可） …各1部 *上記書類を郵送するか、当院まで直接持参ください。
選考方法	書類審査、面接試験 *出願書類提出時に受験希望日をご連絡ください。
選考日程	随時（応募者の方の面接希望日と調整して実施）
採否	マッチングによる

処遇について

身分	常勤職員
給与	基本給（1年次）453,700円（2年次）464,420円
手当	この他、宿日直手当、扶養手当（扶養義務者）等を支給
賞与	年2回支給（7月、12月） *支給率は病院実績により確定します。
勤務時間	週37.5時間とし、休憩時間は一般職の医師に準じる 原則として、平日は8時30分より17時まで（休憩時間60分）、土曜日は8時30分より12時30分まで。
勤務形態	4週8休制
休日	日曜日、祝日、年末年始（12月30日から1月3日まで）
有給休暇	初年度は4月から9月までは6日間、10月以降に10日間の有給休暇を付与する。その後は労働基準法に定める通り。
社会保険、年金保険	全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険
労災保険、雇用保険	有り
医師賠償責任保険	個人加入
宿舍	有り
健康診断	年2回実施
その他	学会、研究会について出張費を支給（当院規程による）。院内託児所あり。アルバイト禁止。
応募書類提出先	社会保険田川病院 経営企画課（臨床研修事務局） 熊谷
・問合せ先	〒826-8585 福岡県田川市上本町10番18号 電話：0947-44-0460 F A X：0947-45-6540 E m a i l： kikaku@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp



まごころと、安心と、信頼と

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険田川病院

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2019年度開催回数 1回）

病院施設番号： 032271 臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ クロマツ ハジメ		社会保険田川病院	病院長	研修管理委員長 プログラム責任者
姓 黒松	名 肇			
フリガナ タカヤマ カツヒコ		医療法人福翠会 高山病院	病院長	研修実施責任者
姓 高山	名 克彦			
フリガナ オカベ コウジ		岡部内科循環器内科	院長	研修実施責任者
姓 岡部	名 浩司			
フリガナ アイノ ハジメ		社会保険田川病院	内科系統括部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 相野	名 一			
フリガナ ササキ ユウ		社会保険田川病院	内科医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 佐々木	名 優			
フリガナ キザキ ジュンヤ		社会保険田川病院	外科部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 木崎	名 潤也			
フリガナ ユゲ コウタロウ		社会保険田川病院	外科医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 弓削	名 浩太郎			
フリガナ シマダ ショウ		社会保険田川病院	小児科医長	
姓 島田	名 翔			
フリガナ ヤナセ ユタカ		社会保険田川病院	麻酔科部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 柳瀬	名 豊			
フリガナ カネコ シンヤ		社会保険田川病院	麻酔科部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 金子	名 真也			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2019年度開催回数1回）

病院施設番号：032271 臨床研修病院の名称：社会保険田川病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ウエヤマ トシヒコ 姓 植山 名 敏彦	社会保険田川病院	副病院長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ヨシカワ エイイチロウ 姓 吉川 名 英一郎	社会保険田川病院	整形外科部長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ カワバ トモユキ 姓 川場 名 知幸	社会保険田川病院	脳神経外科顧問	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ フジイ ツヨシ 姓 藤井 名 毅	社会保険田川病院	産婦人科医長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ サノ ヒロキ 姓 佐野 名 仁紀	社会保険田川病院	耳鼻咽喉科医長	
フリガナ モリ セイイチロウ 姓 森 名 成一郎	社会保険田川病院	形成外科部長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ミヤジマ ジロウ 姓 宮島 名 次郎	社会保険田川病院	泌尿器科部長	臨床研修指導医（指導医）
フリガナ ミクリヤ サトシ 姓 御厨 名 賢	社会保険田川病院	皮膚科医長	
フリガナ ジミ アツロウ 姓 自見 名 厚朗	社会保険田川病院	病理医	病理指導医
フリガナ ツジ タクヤ 姓 辻 名 拓也	社会保険田川病院	眼科医	

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2019 年度開催回数 1 回）

病院施設番号： 032271 臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ アラキ ヒサアキ 姓 荒木 名 久昭	荒木小児科医院	院長	外部委員
フリガナ イハラ モトコ 姓 井原 名 資子	社会保険田川病院	看護部長	
フリガナ ナカハラ トシヒロ 姓 中原 名 俊博	社会保険田川病院	事務長	事務部門の責任者
フリガナ クマガイ コオダイ 姓 熊谷 名 拡大	社会保険田川病院	経営企画課主任	
フリガナ ミヤザキ アヤカ 姓 宮崎 名 彩香	社会保険田川病院	経営企画課員	
フリガナ 姓 名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院
 病院施設番号： 032271

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科					整 形 外 科	形 成 外 科	脳 神 経 外 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	1938	(5924)	806		145	518 (250)	()						595	41	270	4313
年間新外来患者数	4379		989		650	1009			104				1803	761	1280	10975
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	129.1 (292)	()	41.2 (292)	()	9.2 (292)	44.6 (292)	()	()	20.8 (292)	()	()	()	59.2 (292)	15.5 (292)	34.8 (292)	
平均在院日数	18.5		14.4		3.8	10.7							20.9	13.6	22.7	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	11 (3)	7 (7)	7 (5)	2 (1)	1 (1)	4 (2)	()	()	()	()	()	()	4 (1)	1 (1)	2 (1)	32 (15)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院
 病院施設番号： 032271

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	その他の研修を行う診療科						合 計
							産 科	婦 人 科		皮 膚 科	泌 尿 器 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 科	老 年 内 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数		()				()	()			51	276	72	146	0	16	561
年間新外来患者数										897	518	245	1018	2137	3	4818
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	26.7 (292)	23.9 (292)	18.7 (292)	25.0 (292)	8.3 (292)	0.1 (292)	
平均在院日数										5.5	13.1	1.0	8.1	0	4050.0	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	5 (2)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院
病院施設番号： 032271

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	その他の研修を行う診療科						合 計
							産 科	婦 人 科		緩和ケア内科						
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数		()				()	()			1						1
年間新外来患者数										0						0
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0 (292)	()	()	()	()	()	
平均在院日数										103.0						
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	1 (1)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分)								臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院						
								病院施設番号： 032271						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
社会保険田川病院	内科	2	2	2	2	2	2							
社会保険田川病院	救急部門							1	1					
社会保険田川病院	麻酔科							1	1					
社会保険田川病院	外科									1	1			
社会保険田川病院	小児科									1	1			
社会保険田川病院	産婦人科											1	1	

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別業で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)								臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院						
								病院施設番号： 032271						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
社会保険田川病院	選択科目	2	2	1		1	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 032271

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	黒松 肇	社会保険田川病院	病院長	30	○	平成 19 年度久留米大学病院指導医講習会（ワークショップ）修了、日本産婦人科学会 産婦人科専門医・指導医	032271202	1, 4 (032271202)
脳神経外科、救急部門	川場 知幸	社会保険田川病院	脳神経外科顧問	40	○	第 20 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	032271202	4 (032271202)
内科	相野 一	社会保険田川病院	内科系統括部長	20	○	第 20 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本肝臓学会 専門医、日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本病院総合診療医学会 認定医、日本消化器内視鏡学会 専門医、日本消化器学会 胃腸科専門医、日本がん治療認定医機構 認定医	032271202	4 (032271202)
内科	佐々木 優	社会保険田川病院	内科医長	17	○	第 26 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本内科学会 認定内科医、日本消化器内視鏡学会 専門医	032271202	4 (032271202)
内科	吉富 宗重	社会保険田川病院	呼吸器内科医長	19	○	2019 年度第 3 回臨床研修指導医講習会修了、日本内科学会 認定内科医	032271202	4 (032271202)
内科	曾我 理香	社会保険田川病院	内分泌・糖尿病内科医長	12	×	日本内科学会 認定内科医	032271202	上級医
内科	北村 知聡	社会保険田川病院	循環器内科医長	6	×	日本内科学会 認定内科医	032271202	上級医

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（8 4 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 032271

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	田中 裕穂	社会保険田川病院	外科顧問	40	○	日本医師会「指導者のための教育ワークショップ」（福岡県医師会主催）修了、日本外科学会 外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医、日本緩和医療学会 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了	032271202	4 (032271202)
外科、救急部門	木崎 潤也	社会保険田川病院	外科部長	19	○	第 17 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本外科学会 外科専門医、日本消化器外科学会 消化器外科専門医、消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 腹腔鏡技術認定医	032271202	4 (032271202)
外科、救急部門	白濱 靖久	社会保険田川病院	外科医長	12	○	第 29 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本外科学会 外科専門医	032271202	4 (032271202)
外科、救急部門	弓削 浩太郎	社会保険田川病院	外科医長	16	○	第 26 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本外科学会 外科専門医	032271202	4 (032271202)
外科、救急部門	中山 剛一	社会保険田川病院	外科医長	15	○	第 22 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本外科学会 外科専門医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医・専門医、日本肝臓学会 専門医、日本腹部救急医学会 認定医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、麻酔科 権務医	032271202	4 (032271202)
外科	高橋 龍司	社会保険田川病院	乳腺外科医長	15	×	日本外科学会 外科専門医、日本乳癌学会 乳腺専門医、検診マンモグラフィ読影認定医	032271202	上級医
小児科	金子 真也	社会保険田川病院	麻酔科部長	34	○	平成 18 年度久留米大学病院指導医講習会（ワークショップ）修了、麻酔科 権務医、日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医、日本小児科学会 小児科専門医	032271202	4 (032271202)

- ※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
- ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
- ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
- ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
- ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
- ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 032271

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	藤井 毅	社会保険田川病院	産婦人科医長	22	○	第 51 回新臨床研修指導医養成講習会修了、日本産婦人科学会 産婦人科専門医	032271202	4 (032271202)
放射線科	植山 敏彦	社会保険田川病院	副病院長	36	○	第 26 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本医学放射線学会 放射線診断専門医、日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医、日本消化器がん検診学会 認定医・指導医	032271202	4 (032271202)
整形外科、救急部門	吉川 英一郎	社会保険田川病院	整形外科部長	16	○	第 29 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本整形外科学会 整形外科専門医・運動器リハビリテーション医	032271202	4 (032271202)
麻酔科、救急部門	柳瀬 豊	社会保険田川病院	麻酔科部長	32	○	平成 21 年度久留米大学病院指導医講習会（ワークショップ）修了、麻酔科権務医、日本外科学会 外科専門医、日本消化器外科学会 認定医、日本緩和医療学会 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修修了	032271202	4 (032271202)
泌尿器科	宮島 次郎	社会保険田川病院	泌尿器科部長	31	○	平成 17 年度久留米大学病院指導医講習会（ワークショップ）修了、日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	032271202	4 (032271202)
形成外科	森 成一郎	社会保険田川病院	形成外科部長	29	○	第 26 回久留米大学病院指導医講習会修了、日本形成外科学会 専門医	032271202	4 (032271202)
緩和ケア内科	佐野 智美	社会保険田川病院	緩和ケア内科部長	34	○	平成 21 年度久留米大学病院指導医講習会（ワークショップ）修了、麻酔科権務医、日本麻酔科学会 麻酔科認定医・指導医、日本専門医機構 機構専門医、日本サイコロロジー学会 CST 認定ファシリテーター、日本緩和医療学会 緩和医療認定医	032271202	4 (032271202)

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 032271

臨床研修病院の名称： 社会保険田川病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
病理（CPC）	自見 厚朗	社会保険田川病院	病理医	44	×	日本病理学会認定病理専門医、日本臨床細胞学会 細胞診専門医	032271202	上級医
耳鼻咽喉科	佐野 仁紀	社会保険田川病院	耳鼻咽喉科医長	11	×	日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	032271202	上級医
皮膚科	御厨 賢	社会保険田川病院	皮膚科医長	24	×		032271202	上級医
眼科	辻 拓也	社会保険田川病院	眼科医員	13	×	日本眼科学会 眼科専門医	032271202	上級医
小児科	島田 翔	社会保険田川病院	小児科医長	6	×		032271202	上級医
老年内科	橋本 光孝	社会保険田川病院	老年内科部長	35	×	日本外科学会 認定医、日本乳がん学会 認定医、日本医師会認定健康スポーツ医	032271202	上級医

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。